

ホタル通信

ホシザクラとヤブザクラが咲きました

No.163 2019.3.31

<小山のホタルと自然を守る会>

事務局 町田市小山町2545-6

Tel 042(797)5310 畠山

HP<http://oyama-hotaru.com/>



小山が丘3号緑地 2019.3.24撮影

タマノホシザクラ

ヤブザクラ

暖かい春の日差しを浴びてタマノホシザクラとヤブザクラが一気に開花しました。日本の代表的なサクラといえば「ソメイヨシノ」と一般的にいわれますが、このサクラは華やかで観賞価値が高いと全国的に江戸時代から植えられてきた園芸種です。一方、タマノホシザクラは多摩丘陵南部の南大沢や町田市片所近辺にしか自生・群生していない貴重なサクラで、ごく近い将来に絶滅しかねない絶滅危惧種に指定されています。ソメイヨシノのような華やかさはなく、しとやかにひっそりと咲いている様は見過ごしてしまいがちですが、太古の時代から連綿と種をつないできたことを想うと愛おしさを感じえません。

タマノホシザクラとヤブザクラは姉妹ザクラでともにマメザクラとエドヒガンが約一万年頃に自然交雑したものといわれています。種子では増えず、這った根から芽を出すクローン繁殖です。

タマノホシザクラとヤブザクラの簡単な見分け方



- 1、ヤブザクラの方が一週間前に早く咲き始めます。
- 2、ホシザクラの蕾はくっきりした濃紅星形ですがヤブザクラはたまご型です。
- 3、ホシザクラの花びらは完全に開かず受け咲き。ヤブザクラは水平に平開きに咲く。

タマノホシザクラの苗木を提供しました

「小山中央小学校雑木林を守る会の要望」でタマノホシザクラの親木からクローン繁殖した幼木4本を提供しました。片所谷戸から外部に提供するのは初めてのことです。

小山中央小学校の校歌には「春は片所の**ほし桜** 夏は水辺の**螢** 自然あふれる美しい・・・・・・・・・・」とホシザクラとホタルが詠われています。また、校章もホシザクラをモチーフにしたものです。小山中央小学校の周辺の自然環境に注目し、特に片所谷戸の絶滅危惧種で希少なホシザクラと、初夏に多くの地域の方が鑑賞を楽しめるゲンジボタルを取り上げたそうです。ちなみに、小山中学校の校章もホシザクラをデザインしたものです。



右上の写真はカインズホーム側の校門前に植栽されたものです。通りがかりにぜひ注視していただければ幸いです。

片所谷戸の今



谷戸の東側の区画整理事業で3ヶ所ある湧水の枯渇を心配しているところですが現在のところは2ヶ所の湧水は平常の水量のようです。



手つかずで伸び放題であったササや樹木を全面的に刈り込みを行いました。野鳥や昆虫にとってどうかという感がありますが谷戸の景観・環境保持と安全確保のためです。

奥に見えるコンクリートの高さ8メートル擁壁は区画整理事業のものです。



←とんぼ池は現在満々と水を溜めていますが、今年に入ってから2カ月位ほとんど涸れた状態がでした。水中で生息していただろうホタルの幼虫が元気だったかどうか。これからの雨を期待します。

